

令和 07 年度				調 査			
町道天満線天神橋補修第3期工事				設計書			
工 事 番 号				施 工 地			
R7阿建道メ第1-002号				東蒲原郡阿賀町 天満 地内			
		実 施 ・ 元		変 更			
設 計 額		円		円			
契 約 額 (内消費税額)		(円)		(円)			
工事・履行日数		工事日数 00145 日間 又は 完成期限 年 月 日		日間(付与日数 日間) 完成期限 年 月 日			
実 施 (元) 設計概要	伸縮装置取替工 (A1・A2) L=14m			変 更 設計概要			

参 考 資 料

この「参考資料」は、入札参加者の適性かつ迅速な見積に資するための資料であり、建設工事請負基準約款第1条にいう設計図書ではない。

従って「参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

施 工 条 件 総 括 表

下記項目、事項のうち○印欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者（町）と協議し、適切な措置を講ずるものとする。

明 示 項 目	施 工 条 件
① 工 程 関 係	1. 関連する別途発注工事 なし ・ 工 事 名 : ・ 予 定 期 間 :
	2. 施工時期、時間、方法の制限 なし ・ 時 期 : ・ 時 間 : ・ 方 法 :
	③. 関係機関協議による工程条件 あり ・ 協 議 内 容 : 一級河川 一時占用協議 ・ 完 了 予 定 時 期 : 完了済み
	4. そ の 他
2 用 地 関 係	1. 工事用地等の未処理部分 （ なし ） ・ 処 理 見 込 時 期 : ・ 区 間 :
	2. 仮設ヤードの指定 （ なし ） ・ 場 所 : ・ 期 間 :
	3. そ の 他
3 公 害 対 策 関 係	1. 公害防止の制限（騒音・振動、排出ガス、粉じん、水質等） （ なし ） ・ 施 工 方 法 : ・ 作 業 時 間 :
	2. 家屋等の調査の必要性 （ なし ） ・ 方 法 : ・ 範 囲 :
	3. そ の 他

明 示 項 目	施 工 条 件
④安全対策 関係	①. 交通安全施設等の指定 （ あり ） ・ 交 通 誘 導 員 ：交通誘導警備員Bを8人日計上している。 ・ その他施設等：
	2. 近接作業制限（鉄道、ガス、水道、電気、電話等） （ なし ） ・ 内 容： ・ 工 法 制 限： ・ 作 業 時 間 制 限：
	3. 発破作業 （ なし ） ・ 保安設備及び保安要員： ・ 防 護 工： ・ 作 業 時 間 制 限：
	4. 防護施設（落石、雪崩、土砂崩落等） ・ 内 容：
	5. そ の 他
5 工事用道路 関係	1. 一般道路を搬入路としての使用制限 （ なし ） ・ 搬 入 経 路： ・ 期 間： ・ 使用後の処置：
	2. 一般道路の占有 （ なし ） ・ 期 間： ・ 規 制 条 件： ・ 時 間 制 限：
	3. 仮設道路設置 （ なし ） ・ 工法指定の有無： ・ 用 地 関 係： ・ 安 全 施 設： ・ 工事完了後の「存置」または「撤去」：
	4. そ の 他
6 仮設 関係	1. 仮設備の指定 （ なし ）
	2. 仮設備の条件指定 （ なし ）

明 示 項 目	施 工 条 件
6 仮 設 備 関 係	3. 仮設構造物の転用、兼用 （ なし ） ・ 工 種： ・ 内 容：
	4. イメージアップ （ なし ） ・ 内 容：
	5. そ の 他
⑦ 残 土 ・ 産 業 廃 棄 物 関 係	別紙「建設副産物特記仕様書」のとおり 発生する建設残土は指定する処分場へ搬出すること
8 工 事 支 障 物 件 等	1. 占用支障物件あり（電気、電話、水道、ガス等） （ なし ） ・ 内 容： ・ 移設、撤去、防護方法等： ・ 時 期：
	2. 占用物件重複施工 （ なし ） ・ 内 容：
	3. そ の 他
9 排 水 工 （濁水処理含む）	1. 濁水、湧水処理等の特別な対策 （ なし ） ・ 内 容：
10 薬 液 注 入 関 係	1. 薬液注入工法 （ なし ） 別紙条件明示による
11 そ の 他	1. 現場発生材 （ なし ） ・ 品 名： ・ 納 入 場 所：
	2. 支給品及び貸与品 （ なし ） ・ 品 名： ・ 引 渡 場 所：
	3. 品質証明の必要 （ なし ） 標準仕様書第1編（章）1－1－25による
	4. その他

明 示 項 目	施 工 条 件				
⑫ 排 出 ガ ス 対 策 型 建 設 機 械 及 び 低 騒 音 建 設 機 械	1. 排出ガス対策型建設機械 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付建設省経機発第249号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着（黒煙浄化装置付）することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。 <table border="1" data-bbox="421 560 2045 1070"> <thead> <tr> <th data-bbox="421 560 1576 596">機 種</th><th data-bbox="1576 560 2045 596">備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="421 596 1576 1070"> 一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、バイブロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン </td><td data-bbox="1576 596 2045 1070"> ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。 </td></tr> </tbody> </table> 2. 低騒音建設機械 本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和62年3月30日建設省経機発第58号）に基づき低騒音型建設機械の使用が原則となる場合は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年建設省告示第1536号）に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 低騒音型建設機械を使用する場合、請負者は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。	機 種	備 考	一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、バイブロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。
機 種	備 考				
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、バイブロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。				
⑬ 施 工 方 法 等	・施工条件総括表、図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書に特別に定める場合を除き、仮設、施工方法その他工事目的物を完成するために必要な手段は、請負者の責任において定める。（建設工事請負基準約款1条第3項による）				

建設副産物特記仕様書

1. 再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考

2. 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3. 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称			
工事場所／施設所在地			
連絡先			
受入時間			
受入費用			
仮置場所の有無			
備考			

4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	無筋コンクリート殻	鉄筋コンクリート殻	アスファルト殻	
処理施設名称	(株)坂詰組コンクリートリサイクルセンター		(有)斎藤砂利	
施設所在地	阿賀野市新保665-2		五泉市大蔵字廣瀬島1715番地1	
連絡先	0250-68-5511		0250-47-2339	
受入時間	—		—	
受入費用	設計に計上		設計に計上	
備考				

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5. 建設リサイクル法の対象工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7. 協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに発注者に報告し、協議すること。

「週休2日適用工事(現場閉所)」(令和7年4月) 特記仕様書

本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して月単位の週休2日(現場閉所)に取り組む旨を協議した上で工事を実施する「週休2日適用工事(現場閉所)」受注者希望方式の対象案件である。なお、通期の週休2日(現場閉所)について、受注者は協議にかかわらず取り組むものとする。

通期の4週8休以上(現場閉所率28.5%(8日/28日)以上の水準に達する状態)を前提に、補正対象経費に通期の週休2日補正係数を乗じて予定価格を作成している。

受注者は、「「週休2日適用工事(現場閉所)」(令和6年10月)実施要領」に基づき、月単位の週休2日(現場閉所)の取組の希望の有無を工事着手前に、監督員と打合せ簿により協議するものとする。

現場閉所の達成状況より、月単位を希望して月単位の4週8休以上を達成した場合は、月単位の週休2日補正係数に設計変更する。月単位を希望して月単位の4週8休に満たない場合、月単位を希望せずに月単位の4週8休以上を達成した場合は、通期の週休2日補正係数のままとする。通期の4週8休に満たない場合は、補正分を減額変更するものとする。

(参考)

県要領の電子データは、新潟県ホームページから入手できるので参考とすること。

(<https://www.pref.niigata.lg.jp/gijutsu/1356857978573.html>)

積算に係る特記事項（参考資料）

工事番号： R7阿建道メ第1-002号
工 事 名： 町道天満線天神橋補修第 3 期工事

本工事は、令和 5 年度積算基準（新潟県土木部）によるもののほか、次に記載する図書等及び見積を適用し積算している。
なお、下表に適用した図書等を参考として明示する。

- ・ 橋梁架設工事の積算 令和 5 年度版（一般社団法人 日本建設機械施工協会）
- ・ 橋梁補修補強工事積算の手引き 令和 5 年度版（一般社団法人 日本建設機械施工協会）
- ・ 改訂 2 版 橋梁補修の解説と積算（一般財団法人 建設物価調査会）
- ・ 見積を採用した工種・資材においては、新潟県内の資材等取扱事業者 3 社より徴した見積のうち、最安価の見積額を採用している。

費目・工種明細など	積算参考図書	単 位	設計数量	備 考
＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊				
橋梁保全工事		式		
舗装工		式		
舗装打換え工		式		
舗装版切断		一式		
舗装版切断		m	30	
舗装版破碎(小規)		一式		
舗装版破碎積込(小規模土工)		m2	70	
殻運搬		一式		
AS殻運搬		m3	4	
殻処分		一式		
AS殻処分費(t)		t	8	

費目・工種明細など		積算参考図書	単 位	設計数量	備 考
表層			一式		
表層(車道・路肩部)			m2	70	
区画線工			式		
区画線工			式		
溶融式区画線			一式		
区画線設置			m	20	
橋梁付属物工			式		
伸縮継手工			式		
伸縮装置補修			一式		
伸縮装置材料費		見積	箇所	1	
伸縮装置取替工		見積	m	14	
地覆シール工		見積	箇所	4	
仮設工			式		
交通管理工			式		
交通誘導警備員			一式		
交通誘導警備員B			人日	8	
直接工事費				3	
共通仮設費(率分)				24	
共通仮設費計				10	

費目・工種明細など		積算参考図書	単 位	設計数量	備 考
純工事費					
現場管理費（率分）					
現場管理費計				0.02	
工事原価				0.02	
工事原価計				3	
一般管理費等				3	
契約保証費				1	
一般管理費等計					
工事価格					
消費税相当額				3	
工事費				3	

設計図書における利用コード一覧表

設計図書における本工事費内訳表および施工内訳表などに記載のあるデータコードは下記のとおりとなっています。

※データコード中の“x”は任意の半角英数字（xの数も任意），“n”は任意の半角数値です。

1 単価コード

・単価コードにおいて新潟県土木工事等基礎（公表）単価表に掲載のある単価については、コードが対応しています。（その他以外）

労務単価	Rxxxxxxxxx	RRxxxxxxxx	TRxxxxxxxx					
資材単価	TZxxxxxxxx	Txxxxxxxxx	TTxxxxxxxx	TVJxxxxxxxx	TRxxxxxxxx	TMNxxxxxxxx	TNxxxxxxxx	TZPxxxxxxxx
機械・仮設材の賃料・損料	TLxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx	KExxxxxxxx	TMxxxxxxxx	TZUxxxxxxxx	Mxxxxxxxxx	MMxxxxxxxx	
市場単価	TAxxxxxxxx	TBxxxxxxxx	TCxxxxxxxx	TDxxxxxxxx	TGxxxxxxxx	TQxxxxxxxx		
その他	T9999001～T9999099※		Fxxxxxxxxx	Wxxxxxxxxx※	TFJxxxxxxxx※	TYxxxxxxxx※		
東京単価	RR9xxxxxxxx	TZ09xxxxxxxx	TZP9xxxxxxxx	TL09xxxxxxxx	MM09xxxxxxxx	TQ09xxxxxxxx		

その他のものは単価等を個別に設定しており、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表から単価を引用している場合もあります。

※は同一コードでも異なる単価が入力されている場合があります。詳細は入札資料を参照してください。

2 施工コード

①下表のコードは各積算基準の施工コード一覧表と対応しています。 ※

積算基準〔1 県版〕	Sxxxxxxxxx	SCBSxxxxxxxx
積算基準〔2 調査関係〕	SAxxxxxxxx	SBxxxxxxxx
	SCxxxxxxxx	SDxxxxxxxx
積算基準〔3 港湾〕	SDHxxxxxxxx	SExxxxxxxx
	SSHxxxxxxxx	
積算基準〔4 下水道〕	SWGxxxxxxxx	

②下表のコードは積算基準での表記と異なります。 ※

積算基準名	設計図書コード	積算基準の表記
積算基準〔1 一般土木〕全国版	SWBxxxxxxxx	WBxxxxxxxx
	SCBxxxxxxxx	CBxxxxxxxx
積算基準〔4 公園緑地〕	SWCxxxxxxxx	WCxxxxxxxx
積算基準〔6 機械・電気通信〕	SWExxxxxxxxx	WExxxxxxxx
積算基準〔5 建設機械損料表〕	MMJxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx

※①・②記載のパッケージコードについて修正している場合があります。詳細については、6 パッケージコードの修正についてを参照してください。

③下表のコードは個別の案件で設定

名称、単価、単位等を設定	S0900※	S0901※	SE918※	
名称、労務数量等を設定	SA901※	SA902※	SA910※	SC900※
全ての歩掛を独自設定	Vxxxxxxxxx			

※同一コードでも異なる歩掛を設定している場合もあります。

3 機械運転単価コード

各施工歩掛内で使用しています。内訳については帳票の量が多くなるため出力していませんので、積算基準を確認してください。

積算基準の機械運転単価表に記載のある「機－〇〇」は、積算基準〔1 一般土木〕県版に適用単価表が記載されています。

SWKxxxxxxxx	積算基準において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SWMxxxxxxxx	積算基準〔4 下水道〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SKxxxxxxxx	運転労務数量、燃料消費量を積算基準〔5 建設機械損料〕により決定します。ただし、条件を個別設定する場合があります。
SDHTxxxxxxxx (SZxxxx)	積算基準〔3 港湾〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。

4 その他コード

#0n	所定の率で雑材料の経費を計上しています。
#7n	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように所定の率以内で諸雑費計上する処理を行っています。
#80	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように端数を計上する処理を行っています。
+00	施工コードにおいて歩掛全体を割増す場合に用いるコードです。
Xn000	工事の場合は本工事、附帯工事、補償工事などの費目コード、委託の場合は測量、調査、設計などの業務コードです。nは1～4。
Ynxxxxxxxx	新土木工事積算体系における工事工種のコードです。nは1～4工種レベル、zの場合は共通仮設工種。
Zxxxx	共通仮設費、現場管理費、一般管理費のコードです。
管理費区分	「0 省略」は設定無し、「1 桁等購入費」、「5 鋼橋門扉等工場原価」、「T 処分費」等は積算基準〔1 一般土木〕県版を参照してください。「N 直接人件費」、「N1 直接人件費(電子対象外)」については、7 業務委託の管理費区分を参照してください。

5 単価入力データ一覧表について

以下の①～⑤単価コードについては単価入力データ一覧表に関連情報※が記載されています。

同一コードでも異なる単価が入力されている場合がありますので、詳細は入札資料を参照してください。

①本表1 単価コードのその他に記載されている単価コード。

②単価コードに単価値が設定されておらず、積算者が単価を逐次入力した単価コード。

③代表機労材規格および名称・規格の記載内容を修正（変更、追記）した単価コード。

④パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を減額処理した単価コード。

⑤パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を置換えした単価コード。

※関連情報とは、対象となる単価コードとその名称と単位、および、対象コードを使用している本工事費内訳表に記載のコード、名称、第番号です。

※パッケージコードとは施工コードのSCBxxxxxxxx, SCBSxxxxxxxx, SSHxxxxxxxxのことです。

6 パッケージコードの修正について

単価入力データ一覧表に記載されている単価コードを含むパッケージコードは修正となります。

修正した箇所には、施工内訳表の積算地区の代表機労材規格の項目（例：Z1t'）に「修正」と記載されます。

詳細については施工内訳表および単価入力データ一覧表を参照してください。

※本表5の①～③に該当する単価コードであっても、施工条件の入力により単価値、名称、規格が変更された代表機労材規格は対象外です。

※本表5の④の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「* 減額処理 *」と記載されます。

※本表5の⑤の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「* 単価置換 *」と記載されます。

7 業務委託の管理費区分

「N 直接人件費」は測量業務諸経費体系および設計業務諸経費体系での直接人件費を示します。詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

「N1 直接人件費(電子対象外)」は、電子成果品作成費を除く、全ての諸経費を対象とする費用です。

8 業務委託における電子成果品作成費の計上について

「総括情報表」記載の「電子成果品作成費計上」選択項目による、業務区分ごとの電子成果品作成費の計上方法は以下のとおりとなります。

詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

↓選択項目 \ 業務区分→	測量業務委託	一般調査業務	設計業務委託
00設計業務に率計上しない	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	—
01詳細設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	概略設計, 予備設計又は詳細設計
02その他の設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	その他の設計業務
05率計上しない	—	—	—

9 パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日について

パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日については、単価適用日の「新潟県土木工事等基礎（公表）単価表」に記載の、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表について、2. 掲載内容を参照してください。

#

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 工事数量総括表

仮設工における規格・数量は他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など		規格 1 ・ 規格 2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
橋梁付属物工			式			
伸縮継手工			式			
伸縮装置補修			一式			
伸縮装置材料費			箇所		1	
伸縮装置取替工			m		14	
地覆シール工			箇所		4	
仮設工			式			
交通管理工			式			
交通誘導警備員			一式			
交通誘導警備員B			人日		8	
直接工事費						
共通仮設費（率分）						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費（率分）						
現場管理費計						
工事原価						
工事原価計						

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 工事数量総括表

仮設工における規格・数量は他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など		規格 1 ・ 規格 2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
一般管理費等						
契約保証費						
一般管理費等計						
工事価格						
消費税相当額						
工事費						

総括情報表

設計書名 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	実施設計書 1 実施単価 25 津川① 0-07. 06. 20 (0) 1 一般土木	
	当 世 代	前 世 代
工種区分 施工地域区分 現場環境改善費 前払率 契約保証に係る保証 消費税率 労務単価の補正率 週休2日補正の有無 ICT3D出来形・納品補正 小型車補正	20 橋梁保全工事 05 一般交通影響有(2)-1 00 なし 40 40 % 01 金銭的保証 04 10 % 21 0%:補正なし 14 通期(現場閉所)R6. 10 00 なし(R02. 10. 20～) 00 小型車補正なし	

** 本工事費 ** 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
** 本工事費 **						X1000
橋梁保全工事			式			Y1000000051
舗装工			式			Y2000000461
舗装打換え工			式			Y3000003690
舗装版切断 舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装厚:50mm			一式			Y4000026710
0 省略			一式			
舗装版切断						SCB430510
0 省略	30		m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版破碎(小規) 舗装版種別:AS舗装版			一式			Y4000026712
0 省略			一式			
舗装版破碎積込(小規模土工)						SCB210720
0 省略	70		m2			施工 第0-0002号内訳表
殻運搬 殻種別:舗装版破碎						Y4000026714
0 省略			一式			
AS殻運搬 五泉市大倉						SCB227010
0 省略	4		m3			施工 第0-0003号内訳表
殻処分 殻種別:アスファルト殻						Y4000026715
0 省略			一式			
AS殻処分費(t) 斎藤砂利						SWB020052
0 省略	8		t			施工 第0-0004号内訳表

** 本工事費 ** 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
表層	材料種類:⑤密粒度アスコン(新20FH), 舗装厚:50mm, 平均幅員:3.0m超 0 省略			一式			Y4000026720
	表層(車道・路肩部) 0 省略	70		m2			SCB410260 施工 第0-0005号内訳表
区画線工				式			Y2000000466
区画線工				式			Y3000003713
溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動, 規格・仕様区分:実線 15cm, 塗布厚:厚1.5mm, 排水性舗装:無し 0 省略			一式			Y4000026844
	区画線設置 0 省略	20		m			SWB821210 施工 第0-0006号内訳表
橋梁付属物工				式			Y2000000478
伸縮継手工				式			Y3000003759
伸縮装置補修	0 省略			一式			Y4000027102
	伸縮装置材料費 0 省略	1		箇所			V1000 施工 第0-0007号内訳表
	伸縮装置取替工 0 省略	14		m			V2000 施工 第0-0008号内訳表
	地覆シール工 0 省略	4		箇所			V3000 施工 第0-0010号内訳表

** 本工事費 ** 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設工							Y2000000485
				式			
交通管理工							Y3000003821
				式			
交通誘導警備員							Y4000027428
	0 省略			一式			
	交通誘導警備員B						SWB010212
	0 省略	8		人日			施工 第0-0011号内訳表
直接工事費							
共通仮設費（率分）							
共通仮設費計							
純工事費							
現場管理費（率分）							
現場管理費計							
工事原価							
工事原価計							

** 本工事費 ** 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
一般管理費等											
契約保証費											
一般管理費等計											
工事価格											
消費税相当額											
工事費											

AS殻処分費(t)
斎藤砂利

SWB020052 施 工 内 訳 表

07年06月20日適用
施工 第0-0004号内訳表
100 t 当り

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
処分費	100.000	t			TFJA0604343 T 処分費等
計	100	t			
小計	1	t			

SWB821210 施 工 内 訳 表

07年06月20日適用
施工 第0-0006号内訳表
1000 m 当り

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
区画線設置(熔融式) 昼間 豪雪有 実線15cm 制約無	1, 000. 000	m			TQJ1036013 2 0 省略
トラフィックペイント 熔融型 3種1号 ビーズ 15~18 白	570. 000	kg			TZJ4350001 1 0 省略
ガラスビーズ 0. 106~0. 850mm	25. 000	kg			TZJ4352001 1 0 省略
接着用プライマー 区画線用	25. 000	kg			TZJ4354001 1 0 省略
軽油	40. 000	l			TZJ6702002 1 0 省略
諸雑費(率+まるめ)		%			#71 0 省略
計	1, 000	m			
小計	1	m			
夜間作業の有無	=1	無し			
施工方法区分	=1	熔融式手動			
豪雪補正の有無	=2	有り			
規格・仕様区分	=1	実線 15cm			
時間的制約の有無	=1	無し			
塗布厚	=1	1. 5mm			
排水性舗装に施工する場合の補正	=1	無し			
未供用区間の場合の補正	=1	無し			
熔融式塗料規格	=1	含有量15~18%			
塗料区分	=1	白			
プライマー規格	=1	アスファルト舗装			
費用の内訳	=1	全ての費用			

V1000

施 工 内 訳 表

07年06月20日適用
施工 第0-0007号内訳表
1 箇所 当り

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
橋梁用伸縮装置 KC-A 50-WG相当	14	m			W1001 積算資料 0 省略
地覆ジョイント KC-A50用相当	4	箇所			W1002 見積 0 省略
端部ゴム管 25A×L1500	4	箇所			W1003 見積 0 省略
小計	1	箇所			

V2000

施 工 内 訳 表

07年06月20日適用
施工 第0-0008号内訳表
3.6 m 当り

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
鉄筋コンクリート用棒鋼（補強鉄筋）（材） SD345 D16	0.023	t			TZJ1102020 1 0 省略
差し筋アンカー（材） D16異形鉄筋付	76	本			W2001 1 見積 0 省略
バックアップ材（橋梁用伸縮装置関連部材）（材） ウレタンフォーム	36	1			TZJ4718001 1 0 省略
超速硬コンクリート（材）	1	m 3			W2002 1 0 省略
雑材料（上記材料費に対応）		%			#01 見積 0 省略
橋りょう世話役（労）		人			RR0124 2
橋りょう特殊工（労）		人			RR0122 2
普通作業員（労）		人			RR0102 2
雑材料（上記労務費に対応）		%			#02 見積 0 省略
機械損料	1	式			V2001 施工 第0-0009号内訳表 0 省略
計	3.6	m			
小計	1	m			

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
コンクリートカッター損料 ガソリンエンジン, ダイヤモンドプレート	1	台・日			W2001 12 見積 0 省略
エンジンコンプレッサー損料 可搬式5m3/min 低排ガス型	2	台・日			W2002 12 見積 0 省略
ブレーカー損料 30kg級	4	台・日			W2003 12 見積 0 省略
チップパー損料 7～10kg級	2	台・日			W2004 12 見積 0 省略
ガス切断機損料 アセチレン・酸素・大口径火口キャブタイプ	2	台・日			W2005 12 見積 0 省略
電気溶接機損料 2人用、エンジンウェルダ-300～500 (A)	2	台・日			W2006 12 見積 0 省略
バイブレータ損料 電動振動式100V	1	台・日			W2007 12 見積 0 省略
ジャックハンマ損料 D16、アンカービット付	2	台・日			W2008 12 見積 0 省略
ツライチカッター損料 電動100V	1	台・日			W2009 12 見積 0 省略
連絡車損料 ライトバン（人員・諸資材運搬用）	1	台・日			W2010 12 見積 0 省略
クレーン付きトラック（4 t）損料 機械類運搬・荷揚げ・荷卸し	1	台・日			W2011 12 見積 0 省略
クレーン付きトラック（2 t）損料 機材運搬用	1	台・日			W2012 12 見積 0 省略

機械損料

V2001

施 工 内 訳 表

施工 第0-0009号内訳表
1 式 当り

07年06月20日適用

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
ダンプトラック損料（2 t） 資材運搬・ガラ運搬	1	台・日			W2013 12 見積 0 省略
ガラ飛散防止材損料 防護材	1	式			W2014 12 見積 0 省略
雑材料（消耗部材ほか）		%			#01 見積 0 省略
雑材料（油脂類）		%			#02 見積 0 省略
小計	1	式			

地覆シール工

V3000

施 工 内 訳 表

施工 第0-0010号内訳表

07年06月20日適用

4

箇所

当り

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
地覆用シール材 シリコーン系 プライマー含む	5.12	リットル			W3001 1 建設物価 0 省略
地覆用バックアップ材 ウレタンフォーム	10.68	リットル			W3002 1 建設物価 0 省略
雑材料（上記材料費に対応）		%			#01 見積 0 省略
橋りょう世話役（労）		人			RR0124 2
橋りょう特殊工（労）		人			RR0122 2
普通作業員（労）		人			RR0102 2
雑材料（上記労務費に対応）		%			#02 見積 0 省略
計	4	箇所			
小計	1	箇所			

交通誘導警備員B

SWB010212 施 工 内 訳 表

07年06月20日適用
施工 第0-0011号内訳表
1 人日 当り

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
交通誘導警備員B		人			RR0804 1 0 省略
諸雑費(まるめ)	1.00	式			#80 0 省略
小計	1	人日			

SCB430510

施工内訳表

施工第0-0001号内訳表

機械構成比：15.42% 労務構成比：57.13% 材料構成比：27.45% 市場単価構成比：0.00%

標準単価：673.26

1m 当り

代 表 機 労 材 規 格			構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t'	コンクリートカッタ[バキューム式(超低騒音型)] 湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm	10.49%		円/供用日	コンクリートカッタ[バキューム式(超低騒音型)] 湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm		MMJ1161013 MM091161013
R1t'	特殊作業員	19.60%		円/人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R2t'	土木一般世話役	10.55%		円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
R3t'	普通作業員	8.73%		円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
Z1t'	コンクリートカッタ (ブレード) 径18インチ	23.29%		円/枚	コンクリートカッタ (ブレード) 径18インチ		TZJ6540009 TZ096540009
Z2t'	ガソリン レギュラー	2.83%		円/L	ガソリン レギュラー		TZJ6704001 TZ096704001
	積算単価				積算単価		EP001
	舗装版種別 アスファルト舗装版厚 費用の内訳	=1 =1 =1	アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用				
	【補正式】 P' = P						
	[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right.$						
	[労務補正] $+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r}$						
	[材料補正] $+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r + Z2r}$						

単価適用日/適用基準日 07年06月20日適用

施工内訳表

機械構成比：	15.42%	勞務構成比：	57.13%	材料構成比：	27.45%	市場単価構成比：	0.00%	標準単価：	673.26
--------	--------	--------	--------	--------	--------	----------	-------	-------	--------

[illegible]

07-实施-一般-8803-当初

舗装版破碎積込(小規模土工)

単価適用日/適用基準日 07年06月20日適用

SCB210720 施 工 内 訳 表

施工 第0-0002号内訳表
1 m2 当り
標準単価： 1, 690.8

機械構成比： 20.80% 労務構成比： 71.28% 材料構成比： 7.92% 市場単価構成比： 0.00%

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t'	小型バックホ(クロー) [標準] 排出ガス対策型(第2次基準) 山積0.13m3	20.80%	円/供用日	小型バックホ(クロー) [標準] 排出ガス対策型(第2次基準) 山積0.13m3		MMJ0201034 MM090201034
R1t'	運転手(特殊)	71.28%	円/人	運転手 (特殊)		RR0114 RR9114
Z1t'	軽油	7.92%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	費用の内訳	=1	全ての費用			
	【補正式】 P' = P					
	[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{R1t'} \right] \times \frac{Kr}{Rr} \right.$					
	[労務補正] $\left. + \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{Z1t'} \right] \times \frac{Rr}{Zr} \right.$					
	[材料補正] $\left. + \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Zr} \right] \times \frac{Zr}{Z1r} \right.$					
	[全体調整] $\left. + \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100} \right\}$					

AS殻運搬
五泉市大倉

単価適用日/適用基準日 07年06月20日適用

SCB227010 施 工 内 訳 表

施工 第0-0003号内訳表
1 m3 当り
標準単価： 18, 114

機械構成比： 18.57% 労務構成比： 72.35% 材料構成比： 9.08% 市場単価構成比： 0.00%

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)	18.57%	円/供用日	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)		MPM03010010 MPM93010010
R1t	運転手(一般)	72.35%	円/人	運転手 (一般)		RR0115 RR9115
Z1t	軽油	9.08%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	殻発生作業 積込工法区分 DID区間の有無	=3 =4 =1	舗装版破碎 機械積込(小規模土工) 無し			
	運搬距離(km) (DID区間無) 費用の内訳	=14 =1	60.0km以下 全ての費用			
	【補正式】 P' = P					
	[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right\}$					
	[労務補正] $+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} \right] \times \frac{Rr}{R1r}$					
	[材料補正] $+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r}$					
	[全体調整] $+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$					

表層(車道・路肩部)

単価適用日/適用基準日 07年06月20日適用

SCB410260 施 工 内 訳 表

施工 第0-0005号内訳表
1 m2 当り
標準単価： 1, 750.5

機械構成比： 1.43% 労務構成比： 9.93% 材料構成比： 88.64% 市場単価構成比： 0.00%

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m	0.91%	円/日	アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		TLC1210002 TL091210002
K2t	タイヤローラ[普通型] 運転質量8~20t	0.14%	円/日	タイヤローラ [普通型] 運転質量8~20t		TLC1060003 TL091060003
K3t	ロードローラ[マカダム] 運転質量10~12t	0.14%	円/日	ロードローラ [マカダム] 運転質量10~12t		TLC1050002 TL091050002
R1t	普通作業員	3.56%	円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t	運転手(特殊)	2.04%	円/人	運転手 (特殊)		RR0114 RR9114
R3t	特殊作業員	1.98%	円/人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R4t	土木一般世話役	0.70%	円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
Z1t	⑤密粒度アスコン(新20FH)	85.53%	円/式	アスファルト混合物 密粒度(20) 平均仕上り厚50mm		TZJ4100004 TZP91000030
Z2t	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	2.53%	円/L	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用		TZJ4130003 TZ094130003
Z3t	軽油	0.49%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	平均幅員 1層当平均仕上厚 70mm以下(mm) 材料	=4 =50 =2	3.0m超 1層当平均仕上厚 70mm以下(mm) ⑤密粒度アスコン(新20FH)			

表層(車道・路肩部)

単価適用日/適用基準日 07年06月20日適用

SCB410260 施 工 内 訳 表

施工 第0-0005号内訳表
1 m2 当り

機械構成比： 1.43% 労務構成比： 9.93% 材料構成比： 88.64% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1,750.5

代 表 機 労 材 規 格			構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
瀝青材料種類 費用の内訳			=1 =1	タックコート PK-4 全ての費用			
【補正式】 P' = P							
[機械補正]			$\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \frac{K2r}{100} \times \frac{K2t'}{K2t} + \frac{K3r}{100} \times \frac{K3t'}{K3t} \right] \times \frac{Kr}{K1r + K2r + K3r} \right.$				
[労務補正]			$+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r + R4r}$				
[材料補正]			$+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} + \frac{Z3r}{100} \times \frac{Z3t'}{Z3t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r + Z2r + Z3r}$				
[全体調整]			$+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100} \}$				

単価入力データ一覧表①

上位 コード	上位名称	第番号	単 価 コード	単 価 名 称 規 格 1,規 格 2,摘 要 名 称	単 位	金 額
V1000	伸縮装置材料費	第0-0007号	W1001	橋梁用伸縮装置 KC-A 50-WG相当 積算資料	m	
V1000	伸縮装置材料費	第0-0007号	W1002	地覆ジョイント KC-A50用相当 見積	箇所	
V1000	伸縮装置材料費	第0-0007号	W1003	端部ゴム管 25A×L1500 見積	箇所	
V2000	伸縮装置取替工	第0-0008号	W2001	コンクリートカッター損料 ガソリンエンジン,ダイヤモンドプレート 見積	台・日	
V2000	伸縮装置取替工	第0-0008号	W2002	エンジンコンプレッサー損料 可搬式5m3/min 低排ガス型 見積	台・日	
V2000	伸縮装置取替工	第0-0008号	W2003	ブレーカー損料 30kg級 見積	台・日	
V2000	伸縮装置取替工	第0-0008号	W2004	チップパー損料 7～10kg級 見積	台・日	
V2000	伸縮装置取替工	第0-0008号	W2005	ガス切断機損料 アセチレン・酸素・大口径火口キャブタイプ 見積	台・日	
V2000	伸縮装置取替工	第0-0008号	W2006	電気溶接機損料 2人用、エンジンウエダ-300～500(A) 見積	台・日	

単価入力データ一覧表①

上位 コード	上位名称	第番号	単 価 コード	単 価 名 称 規 格 1,規 格 2,摘 要 名 称	単 位	金 額
V2000	伸縮装置取替工	第0-0008号	W2007	パイプレータ損料 電動振動式100V 見積	台・日	
V2000	伸縮装置取替工	第0-0008号	W2008	ジャックハンマ損料 D16、アンカービット付 見積	台・日	
V2000	伸縮装置取替工	第0-0008号	W2009	ツライチカッター損料 電動100V 見積	台・日	
V2000	伸縮装置取替工	第0-0008号	W2010	連絡車損料 ライトバン（人員・諸資材運搬用） 見積	台・日	
V2000	伸縮装置取替工	第0-0008号	W2011	クレーン付きトラック（4 t）損料 機械類運搬・荷揚げ・荷卸し 見積	台・日	
V2000	伸縮装置取替工	第0-0008号	W2012	クレーン付きトラック（2 t）損料 機材運搬用 見積	台・日	
V2000	伸縮装置取替工	第0-0008号	W2013	ダンプトラック損料（2 t） 資材運搬・ガラ運搬 見積	台・日	
V2000	伸縮装置取替工	第0-0008号	W2014	ガラ飛散防止材損料 防護材 見積	式	
V2000	伸縮装置取替工	第0-0008号	W2001	差し筋アンカー（材） D16異形鉄筋付 見積	本	

単価入力データ一覧表①

上位 コード	上位名称	第番号	単価 コード	単価名称 規格 1,規格 2,摘要名称	単位	金額
V2000	伸縮装置取替工	第0-0008号	W2002	超速硬コンクリート（材）	m 3	
V3000	地覆シール工	第0-0010号	W3001	地覆用シール材 シリコン系 プライマー含む 建設物価	リットル	
V3000	地覆シール工	第0-0010号	W3002	地覆用バックアップ材 ウレタンフォーム 建設物価	リットル	

単価入力データ一覧表②

上位 コード	上位名称	第番号	単価 コード	単価名称 規格 1,規格 2,摘要名称	単位	金額
SWB020052	AS殻処分費(t)	第0-0004号	TFJA0604343	処分費	t	

6.7 伸縮装置取替工

(1) 伸縮装置取替工数量集計表

種 別 ・ 細 別		単位	数 量				備 考
			上部工	下部工		合計	
				A1橋台	A2橋台		
伸縮装置 取替え工	既存伸縮装置撤去	m	—	7.00	7.00	14.00	
	伸縮装置本体	m	—	7.00	7.00	14.00	伸縮量50mm対応型
	補強鉄筋 異形棒鋼	kg	—	43.68	43.68	87.36	SD345 D16
	差筋アンカー	本	—	148.00	148.00	296.00	L=260
	超速硬コンクリート	m3	—	0.66	0.66	1.31	
	シーリング材（シリコーン系低モジュラス）	1	—	2.35	2.77	5.12	地覆部
	バックアップ材	1	—	4.90	5.78	10.67	地覆部
	地覆ジョイント	箇所	—	2.00	2.00	4.00	伸縮量50mm対応型
	端部ゴム管	箇所	—	2.00	2.00	4.00	25A×1500

(2) 伸縮装置工数量詳細

1) 既存伸縮装置撤去

A1	L	=	7.000	m
A2	L	=	7.000	m

2) 伸縮装置本体 伸縮量50mm対応型

A1	L	=	7.000	m
A2	L	=	7.000	m

3) 補強鉄筋 異形棒鋼 SD345 D16 (単位重量)

A1	=	7.000	m	×	4	本	×	1.56	kg/m	=	43.680	kg
A2	=	7.000	m	×	4	本	×	1.56	kg/m	=	43.680	kg
合計										=	87.360	kg

4) 差筋アンカー L=260

A1	N	=	148	本
A2	N	=	148	本
合計				= 296 本

5) 超速硬コンクリート

		延長			高さ		幅					
A1	=	7.000	m	×	0.13	m	×	0.72	m	=	0.655	m ³
A2	=	7.000	m	×	0.13	m	×	0.72	m	=	0.655	m ³
合計										=	1.310	m ³

6) シール材 (シリコン系低モジュラス) (地覆部)

A1	=	$(0.400+0.150) \times 0.020 \times 0.089 \times 2 \times 1000 \times 1.2$	=	2.350	ℓ
A2	=	$(0.400+0.150) \times 0.020 \times 0.105 \times 2 \times 1000 \times 1.2$	=	2.772	ℓ
合計				=	5.122 ℓ

7) バックアップ材 (地覆部)

A1	=	$(0.400+0.150) \times 0.050 \times 0.089 \times 2 \times 1000$	=	4.895	ℓ
A2	=	$(0.400+0.150) \times 0.050 \times 0.105 \times 2 \times 1000$	=	5.775	ℓ
合計				=	10.670 ℓ

8) 地覆ジョイント 伸縮量50mm対応型

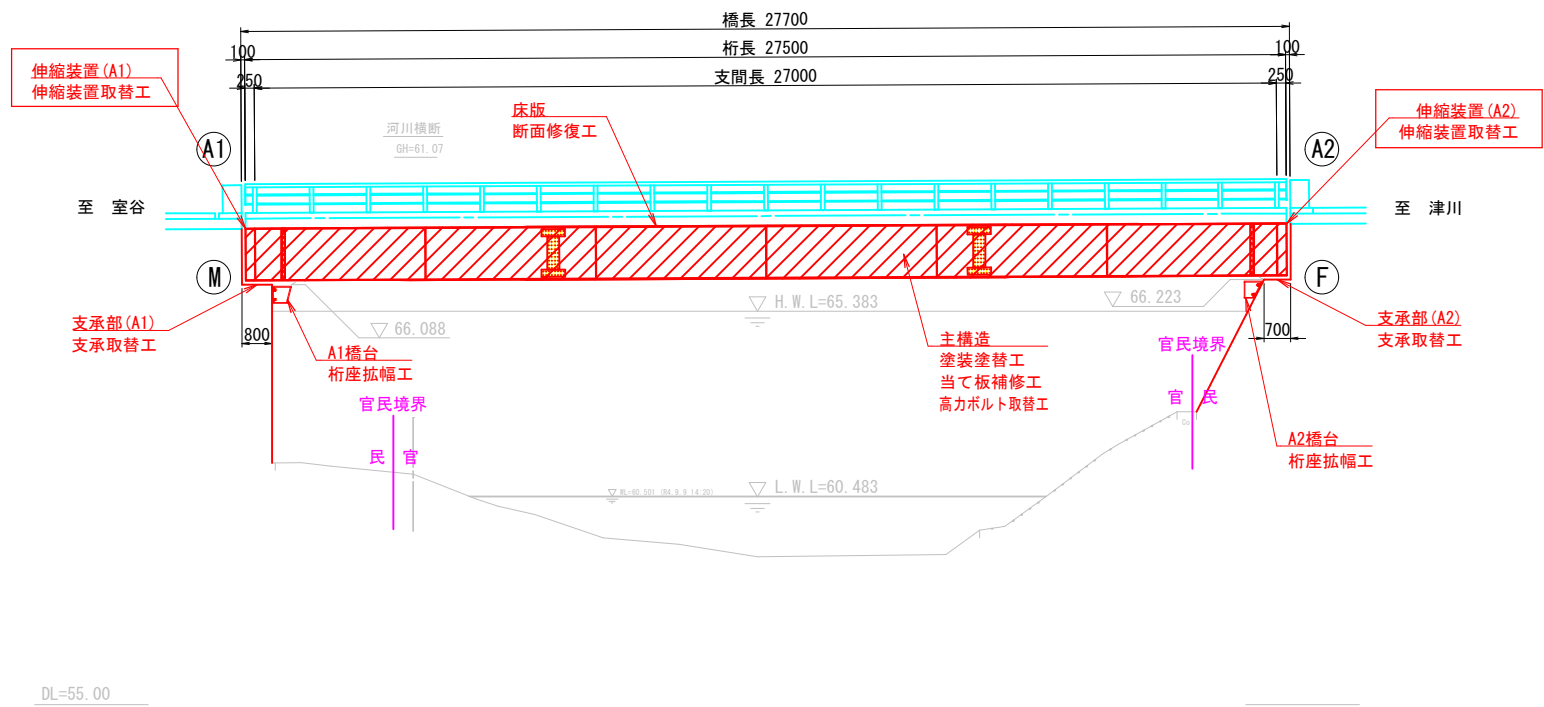
A1	=	2	箇所
A2	=	2	箇所

9) 端部ゴム管 25 A × 1500

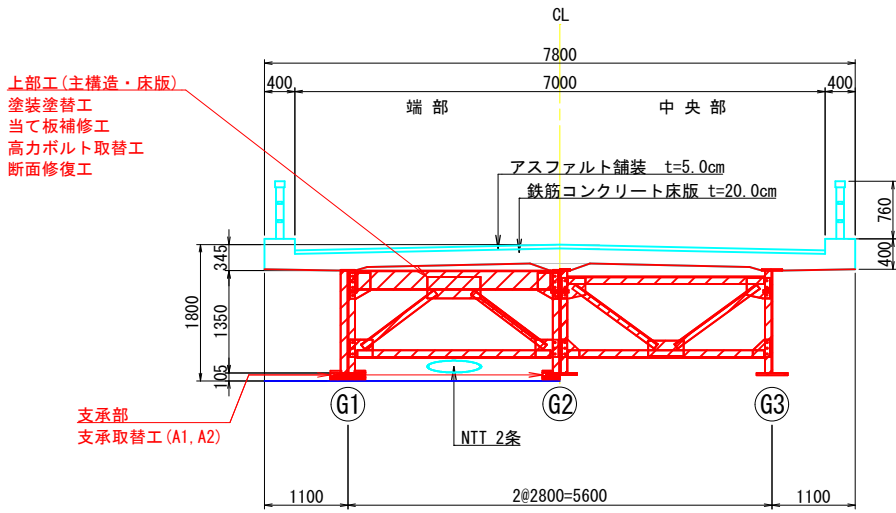
A1	=	2	箇所
A2	=	2	箇所

天神橋 補修一般図

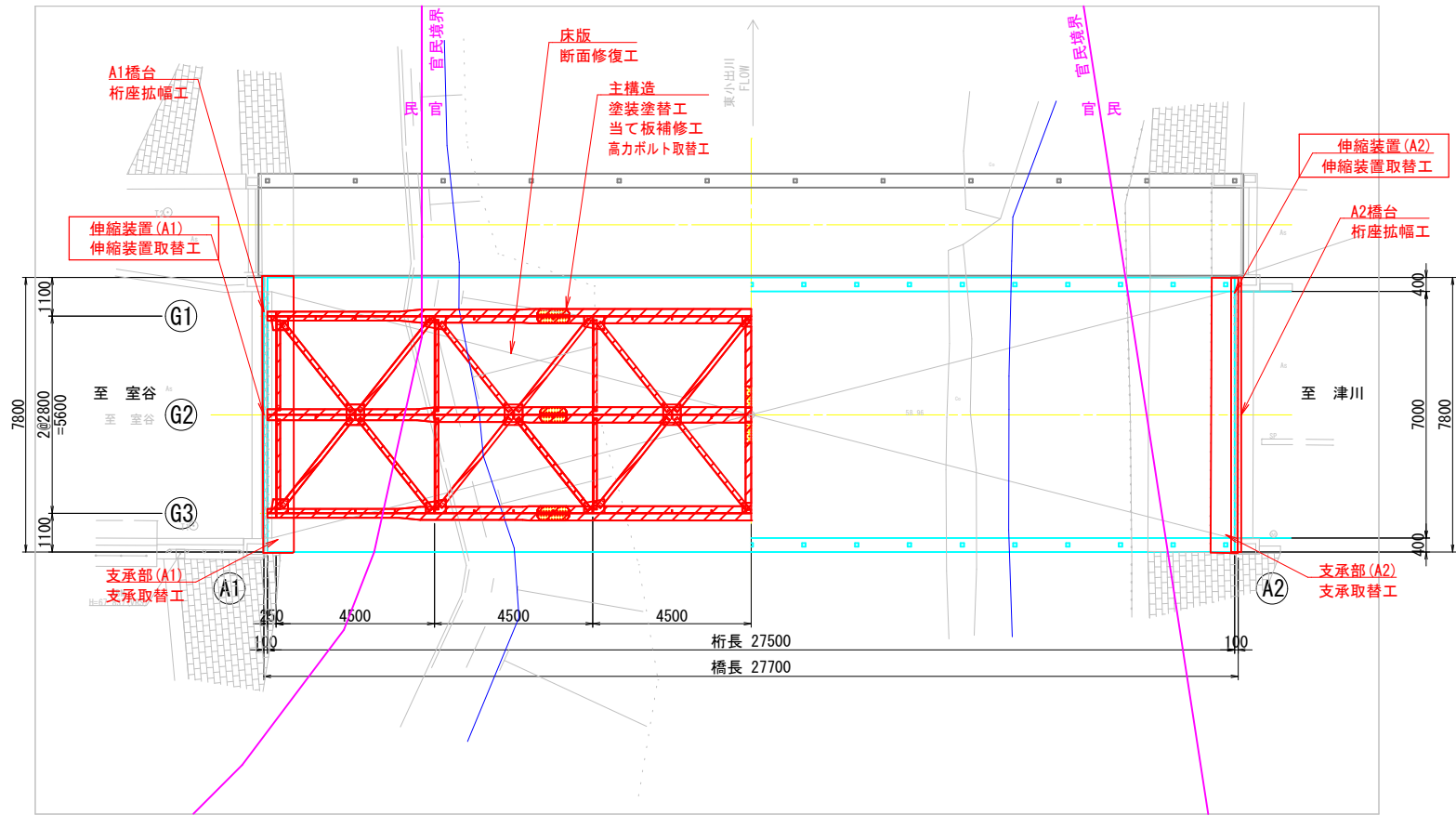
側面図 S=1:100



標準断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



補修対策工一覧

部 材	補 修 方 法	仕 様
主構造 (主桁・横桁 横構・対傾構)	塗装塗替工 (鋼製ブラケット含む) 当て板補修工 高力ボルト取替工	Ro-I 塗装系 — 高力ボルト (S10T), 落下防止対策
床 版	断面修復工	左官工法 (ポリマーセメントモルタル)
橋 台	桁座拡幅工	鋼製ブラケット
支 承	支承取替工	鋼製支承 (線支承)
伸縮装置	伸縮装置取替工	鋼製ジョイント (荷重支持型)

注記
1. 補修計画は令和2年度橋梁点検結果及び現地調査を基に作成したものである。
2. 施工前に再度全体の損傷状況を確認し、補修箇所を決定すること。
3. 図面内の標高値は、任意の標高値である。

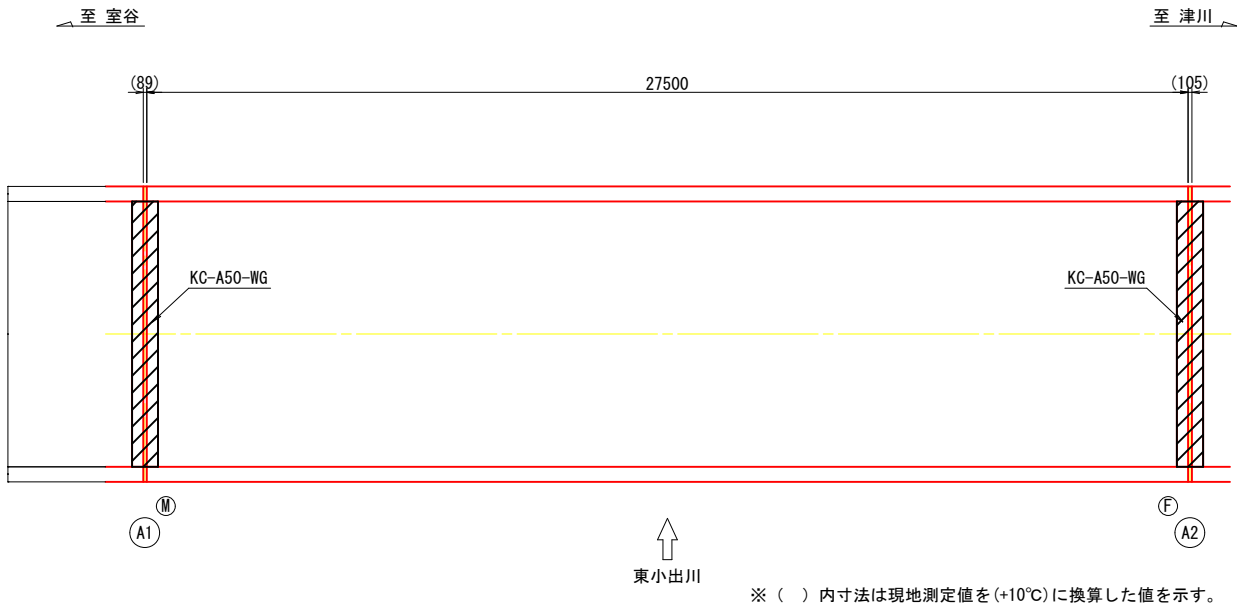
橋梁諸元

上部工形式	単純活荷重合成鉄桁
下部工形式	橋 台 逆 T 式橋台 橋 台 重力式橋台
基礎形式	直接基礎
橋 長	27.700m
桁 長	27.500m
支 間 長	27.000m
幅員構成	0.400+7.000+0.400=7.800m
横断勾配	2.0%放物線
舗 装	アスファルト舗装 t=5.0cm
橋格/設計荷重	2等橋/TL-14
雪 荷 重	1kN/m ²
架設年度	昭和47年
添 架 物	NTT 2条 (占用数量: 31.2m×2条)

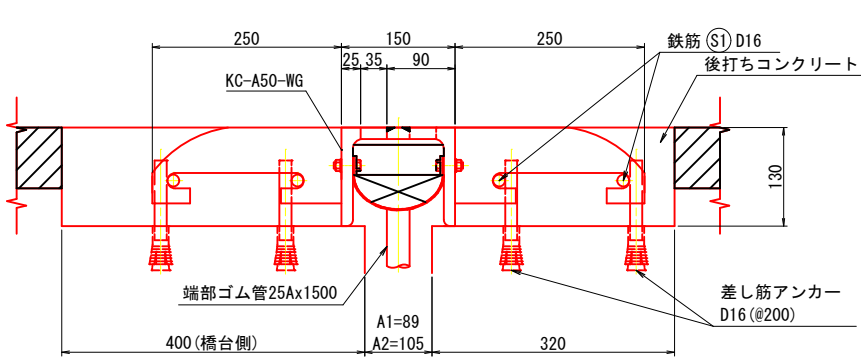
令和 7 年度	工事番号	阿建道メ 第1-002 号
町道天満 筋	郡 阿賀 市 村	天満 地内
町道天満線天神橋補修第3期 工事		
天神橋 補修一般図		
縮 尺	図 示	図面全 20 葉の 02
測 量		
設 計		令和 5年 3月
阿 賀 町		

天神橋 伸縮装置詳細図

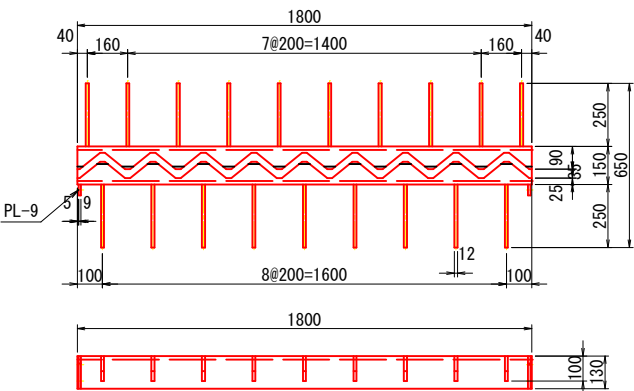
平面図 S=1:100



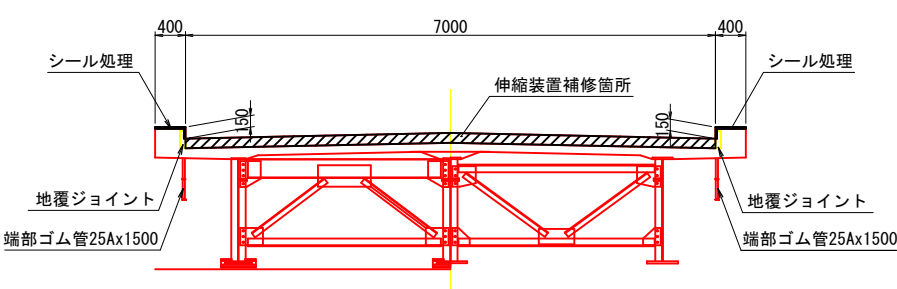
取付断面図 S=1:5
(A1, A2)



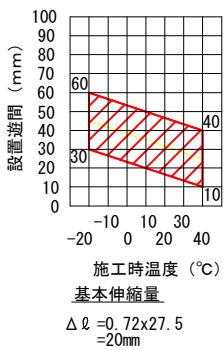
製品図 S=1:15
(A1, A2) KC-A50-WG



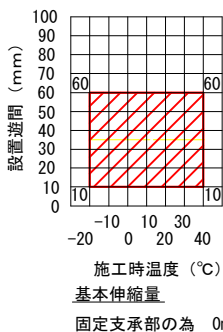
断面図 S=1:50



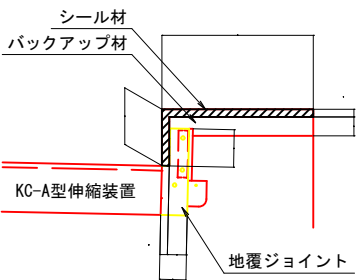
遊間設置表
(A1) KC-A50-WG



遊間設置表
(A2) KC-A50-WG

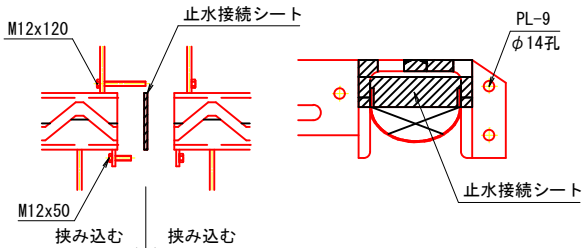


地覆部詳細図 S=1:10



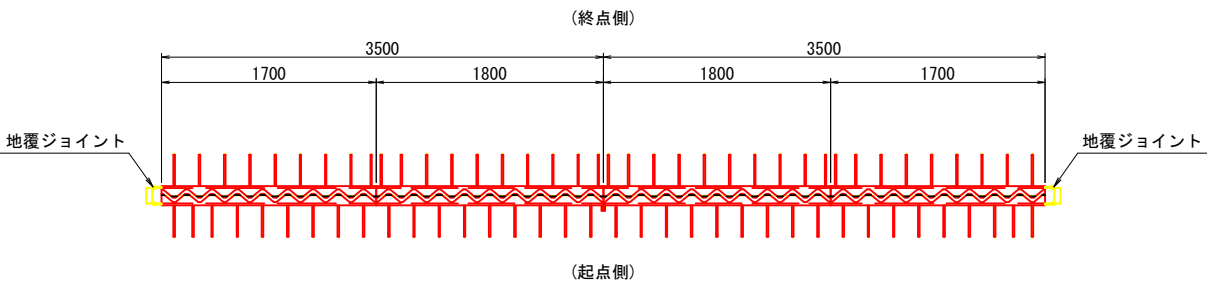
接続部止水接続シート詳細図
(KC-A-WG)

平面図 S=1:10 断面図 S=1:5



※ プライマーを塗布し、指触乾燥後挟み込むこと。

製品割付図 S=1:30
(A1, A2) KC-A50-WG



数量表

品名	仕様・規格	単位	A1	A2	合計	備考
伸縮装置	KC-A50-WG	m	7.000	7.000	14.000	
車道用地覆ジョイント		箇所	2	2	4	伸縮量50mm対応型
鉄筋(S1) (通し筋)	D16 SD345	kg	43.68	43.68	87.36	
差し筋アンカー	D16付 (L=260)	本	148	148	296	
超速硬コンクリート	σ _{3h} =24.0N/mm ²	m ³	0.655	0.655	1.310	
シール材	低モジュラス	ℓ	2.35	2.77	5.12	
バックアップ材		ℓ	4.90	5.78	10.68	
端部ゴム管	25A×1500	本	2	2	4	

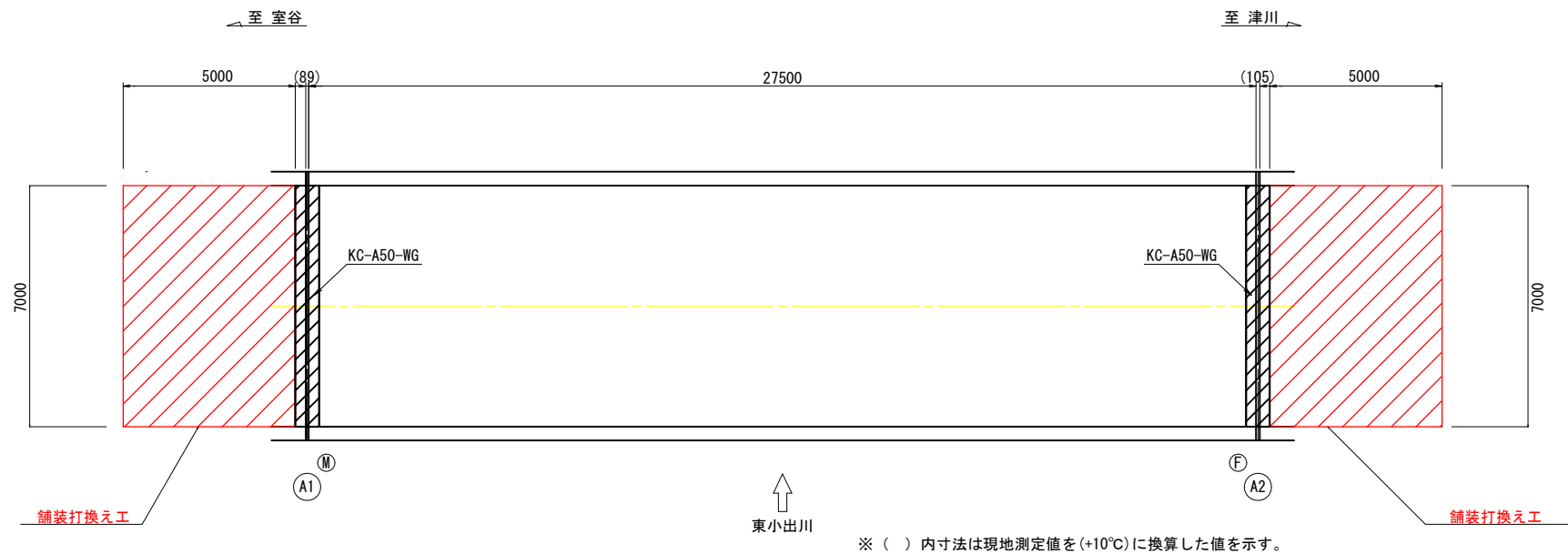
注記

- 補修箇所は平成29年度の橋梁標準点検及び本業務での現地調査結果を基に作成したものである。施工前に再度全体の損傷状況を確認し、補修箇所を決定すること。
- 図面寸法は、標準温度時の値とする。
- 現場調査を行い、寸法・製品等現場の伸縮量・桁遊間を考慮し、再選定が必要な場合は適宜対応のこと。(材料寸法は、現場実測後に決定すること。)
- 埋設物に留意して施工を行うこと。
- 止水材の排水先は、流末等の現場状況を考慮し別途検討を行う。沓座に排水ホースの水がかからないように配慮すること。
- A1橋台側の可動支承及び伸縮装置で遊間異常が確認されている。この遊間異常は、竣工当初から生じているものと推測されるが、原因は不明である。A1橋台側の既設の可動支承や伸縮装置の撤去の際、遊間異常による上部工からの力によって、橋軸方向に変位する可能性が考えられるので、新設する可動支承や伸縮装置は、上部工の挙動を確認し、それぞれの設置位置決定すること。上述した上部工の挙動のことを踏まえ、支承と伸縮装置の取替を同時期に行う工程ができるか検討すること。

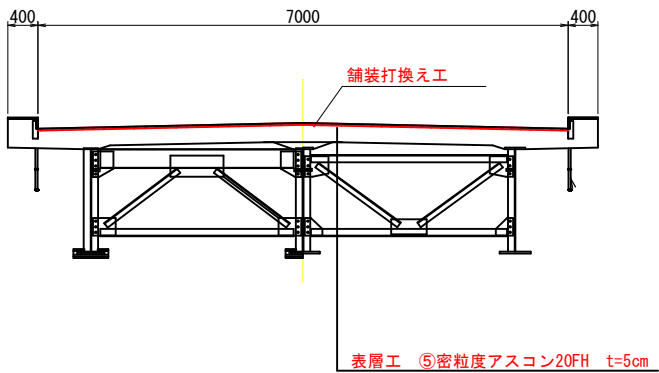
令和 7 年度	工事番号	阿建道 第1-002 号
町道天満 筋	郡 阿賀 市 天満 地内	
町道天満線天神橋補修第3期 工事		
天神橋 伸縮装置詳細図		
縮尺	図示	図面全 20 葉の 16
測量		
設計		令和 5年 3月
阿賀町		

天神橋 舗装打換え工

平面図 S=1:100



断面図 S=1:50



令和 7 年度	工事番号	阿建道 第1-002 号
町道天満筋	郡 阿賀市	町 天満地内
町道天満筋天神橋補修第3期 工事		
天神橋 舗装打換え工		
縮尺	図示	図面全 業の
測量		
設計		令和 5年 3月
阿賀町		